

## 北海道の冬を満喫

### 第74回さっぽろ雪まつり



北海道内のみならず、日本全国や海外にも有名な、札幌の冬の一大イベント「さっぽろ雪まつり」が今年も開催されました。2月4日から11日にわたって大通公園（雪像）、すすきの会場（氷像）、つどいむ会場（遊べる会場）三つの会場には白い世界が出現しました。巨大な雪像や氷像の美しさに圧倒され、アーティストの技術と創造力に感動しました。さらに、夜にはライトアップされ、幻想的な雰囲気を醸し出し、さらに美しさが引き立ちました。

雪像、氷像、すべり台のほかに、音楽ライブやダンスパフォーマンスなどのステージイベントもあり、地元の美味しい物も食べることができます。寒い外で温かい飲み物を飲みながら氷像を見るのも最高ですよ！



### 流水の町 — 紋別

流氷と聞くと、極寒地で見られるイメージがある人が多いでしょう。しかし、日本でも見られますよ。それは北海道！2月に紋別に行って、流氷観光船「ガリゴ号」に乗りました。船で氷を割ってがりがりに進み、流氷を間近で見ることができます。オホーツク海で風と氷に乗るのは迫力満点です！

乗船口の近くには日本最北端、最大級の海中展望塔「オホーツクタワー」があります。3階にある展望室からは360度の海を見渡すことができます。海底階には海中観察窓があるほか、オホーツクの海洋生物（クリオネやタコなど）を展示したミニ水族館もあります。



## 中国・黒竜江省 DAY



(2日間で280人が訪れる)

1986年6月13日、黒竜江省と北海道は友好提携を締結し、その後5年ごとに相互訪問交流を続けています。両地域の交流は今年で38周年を迎え、3月7日から8日にかけて、北海道庁本庁舎1階交流広場で「中国・黒竜江省 DAY」事業を開催しました。

2日間にわたって開催した黒竜江省紹介展では、1986年に友好関係を締結した際の覚書原本や、当時黒竜江省から北海道に贈られた友好旗などが展示されました。展示エリアの中央には、黒竜江省が友好協力関係締結以来贈呈されたドラゴンボート、銅板、クルミ瓶、茶器、将棋などの記念品が展示されました。パネルでは、両地域の友好交流の歴史、周年交流訪問事業、黒竜江省の概要、自然景観、人文・物産、などが展示されました。

7日のランチタイムセミナーは北海道庁国際課の中国国際交流員・趙登越が黒竜江省の概要や主要都市、食文化などを紹介したほか、中国茶（プーアル茶、龍井茶）の試飲会も用意し、中国黒竜江省の魅力を伝えました。



## ハルビン冰雪大世界

北海道の友好提携省—黒竜江省も冬になると、氷と雪の大地になります。ハルビン氷祭りはさっぽろ雪まつり、ケバックウィンターカーニバル（カナダ）と並ぶ世界三大氷祭りの一つです。

ハルビン氷祭りといえば、一番人気なのはハルビン冰雪大世界です。ここは雪と氷の芸術、文化、パフォーマンス、建築、イベント、スポーツが融合したパークです。今年、第25回ハルビン冰雪大世界は、会場の面積が81万6682.50平方メートルに達し、「世界最大の冰雪テーマパーク」としてギネス世界記録に認定されました。



開催期間：12月18日～2月末  
 気温によって、例年12月下旬～翌年2月末。  
 営業時間：11:00～22:00  
 入場料：一般料金328元（約6500円）  
 外国人観光客はパスポートがあれば購入可能。

- ハルビンの冬の気温は零下20度くらいで、パーク内はさらに寒いので防寒が必要です。
- 気温が低いと携帯電話の電源が急速になくなったので、長時間の室外活動ではモバイルバッテリーを持って行くほうがいいです。